

新年のことば

明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、ごあいさつ申し上げます。

議会は、市長とともに本市を支える二元代表制の一翼を担っており、執行機関に対する監視機能を果たしつつ、多様化する市民ニーズを的確にとらえ、市政に反映することを大きな使命としております。

そのような中、昨年9月定例会において、観光振興に関する市の責務等を明らかにするとともに、関連施策を総合的かつ効果的に推進すべく、議員提案により「福岡市観光振興条例」を制定したことは、議会の活性化、機能強化という時代の要請に応え、議会の政策形成機能を十分に発揮した成果ではないかと考えております。

また、昨年は、議会活動に対する住民理解の促進の観点から市議会広報DVDを作製し広く配付したほか、この本会議場を実際に使用して、小学生に議員の仕事を体験してもらう「福岡市議会社会科特別授業」を実施するなど、市議会の役割や仕組みの周知、さらには議会制民主主義、地方自治への理解を深めるための取り組みを積極的に進めてまいりました。

今後とも、私ども議会の果たすべき役割や機能をしっかりと認識し、本市の発展とよりよい市民生活の実現に寄与してまいりたいと考えております。

さて、昨年を振り返りますと、7月の西日本を中心とする豪雨災害をはじめ、9月の台風 21 号や北海道胆振東部地震など、全国各地で甚大な被害が発生し、多くの方々が犠牲になられるなど、自然災害の脅威を痛感させられる一年でありました。改めて、お亡くなりになられた方々に哀悼の意を表しますとともに、ご遺族と被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

本市におきましては、クルーズ船2隻の同時着岸が可能となる博多港中央ふ頭クルーズパースの供用開始をはじめ、西日本最大級のメインアリーナを備え、新たなスポーツの活動拠点となる「福岡市総合体育館」の開館など、都市基盤の充実に向けた動きが加速しております。また、福岡市科学館での世界天文コミュニケーション会議の日本初開催や、アジア太平洋都市サミットの国連ハビタット福岡本部との共同開催などを通じて、本市の魅力やポテンシャルをアジア、世界に広く発信できたことは非常に意義深いものと考えております。

さらに、人生 100 年時代を見据え、認知症フレンドリーシティ・プロジェクトの推進やベンチプロジェクトの拡充など、超高齢社会に対応し持続可能な社会の実現に向けた取り組みも着実に進んでおります。

本市の財政は依然として楽観できる状況にありませんが、市民の皆様にとって、安全、安心で住みやすく、そして活力と魅力にあふれる福岡を築いていくため、議員一同、今後より一層の努力をしてみたいと決意をいたしております。

市民の皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

平成 31 年元旦

福岡市議会議長 川上晋平
福岡市議会副議長 石田正明